



カンボジア研修



③

カンボジア基礎情報



[カンボジア 地図 シエムリアップ - Bing images](#)



[カンボジア場所 - Bing images](#)

- ・首都 プノンペン
- ・面積 181,000km²(日本の半分)
- ・人口 1,555万人
- ・行き先 シエムリアップ

拡大

④

カンボジアってどんな場所



ジュースが濃厚



ご飯が美味しい



至る所に地雷は無い



買い物しやすい

⑤ スケジュール

2/19 出国 クメール料理の夕食初体験

2/20 NPOはちどりプロジェクト代表宮手さん
ミーティング

「RAYS CAFE」で昼食
博物館

2/21 小学校訪問1日目
どり工房で昼食&見学 夜 反省会

2/22 小学校訪問2日目
ちどり工房で昼食&見学
プレイクション村の散策
宮手さんと小学校訪問の振り返り

2/23 アンコール遺跡観光
「Fresh Fruit Factory」で昼食

2/24 帰国

と

地雷

はち

は

夜



⑥

カンボジアで働く 日本人

① RAYS CAFÉ

② Fresh Fruit Factory

日本では考えないような
視点で物事を考えていた

目的を達成するために
自ら行動していた



▲ RAYS CAFÉ
Fresh Fruit Factory ▼



7

地雷博物館

地雷には対人地雷や対戦車地雷など沢山種類があり、仕掛けが細工されている。

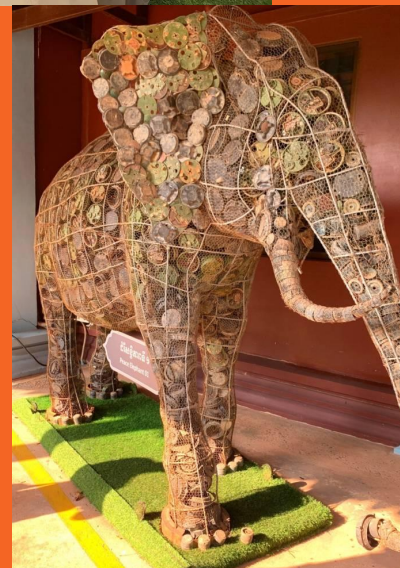
→多くの人が撤去に苦戦し死者も出ている。

地雷除去には小松製作所など日本の企業も協力している。

現在はウクライナの人達が地雷撤去の方法を学びにきている。

地雷や銃で作った象や国旗のオブジェが印象的だった。

地雷問題は今も続いていると感じた。



⑧ NPOはちどりプロジェクト 代表 宮手恵さん

2011年 カンボジア学校建設のために
「はちどりプロジェクト」設立

2012年2月 はちどリスクール完成

2014年3月 村に紙すき産業を興す

「ボランティアを
自己満にしない」とい
う言葉が印象的だっ
た。

今だけでなく、未来の為
に自立を継続させるこ
とを目標にしていると分
かった。



⑨

はちどり工房

タイに出稼ぎに行く際に子供も連れて行くため、働く場として工房を作った。

現在、従業員7名で働いている。

従業員はみんな自分の仕事に誇りを持っている。

しっかりとしたルールがあり働くとは何かを感じさせられた。

日本での働き方が当たり前ではないと気づいた。



小学校訪問 ～1日目～

国語と算数、英語の授業しかない小学校
教室は1クラス2学年で20人程度

①「音」がどうやって伝わるのかを
授業で伝えた(5.6年生)
→振動している様子を塩で表現
糸電話を実施

②外で交流
→バレーボールと輪投げ

【1日目の反省点】

- ・通訳さんに頼りすぎない
→子どもたちに向かって伝える
- ・子どもたちと一緒にする
→担当テーブルを決めて、空きがないようにする
- ・時間管理
→終わる時間を調節、写真をとる時間を作る



小学校訪問 ～2日目～

- ①外で交流
→しっぽとり、ボウリング、
バレーボール
- ②「音」がどうやって伝わるのかを
授業で伝えた(3.4年生)



何事にも興味
をもって挑戦

夢を夢で
終わらせたくない

目をキラキラ
させていた

貧困で学校に
行けない子が
今もいる

質問形式で話すことで
双方の理解力向上に
つながった

言葉が通じなくても
心が通じた
挑戦することが大切とわ
かった

まとめ

- ・ボランティアはただ助けることではないことを知った
 - ・自分が良かれと思ったことが
時には誰かを不幸にしていることもある
 - ・当たり前前の生活に感謝しないといけないとわかった
 - ・日本の価値観とは全く違い
たくさんの違った視点から見ていけないと気づいた
 - ・日本は恵まれている国だと再確認した
 - ・何事にも自分の固定概念にとらわれすぎないことが大切
-

謝辞

カンボジア研修の実施にあたり
ご助力いただいた方々に
深謝いたします

- ・通訳ガイド
- ・カンボジアからの留学生



謝辞

奥田政三教育・研究基金奨学金
大学グローバル研修奨学金

奥田理事長、宮本学長、
奨学金支給のおかげで
負担が軽くなりました。

感謝申し上げます。



ご清聴ありがとうございました
